

みやぎハイスクール通信

第6号

発行日：令和7年10月30日

発行者：宮城県教育庁高校教育課

<https://www.pref.miyagi.jp/site/sub-jigyou/gak-mailmaga-bknum.html>

県立高校の旬な情報をお届けします。マナーアップの取組や特色ある学校行事の紹介、生徒の活躍（成果報告等）、入学を目指す皆さんへのお知らせなど、魅力的な取組に関する情報が満載です。

中学生の皆さんの進路選択に、ぜひ御活用ください。

10月号の目次

1 マナーアップの取組紹介

（1）富谷高校 （2）築館高校

2 特色ある学校行事等の紹介

（1）伊具高校 （2）白石高校七ヶ宿校 （3）名取北高校 （4）名取高校

（5）仙台東高校 （6）仙台二華高校 （7）泉高校 （8）中新田高校

（9）松島高校 （10）涌谷高校 （11）登米高校

（12）登米総合産業高校 （13）迫桜高校 （14）石巻西高校

（15）石巻北高校 （16）気仙沼高校 （17）本吉響高校

（18）田尻さくら高校

3 生徒の活躍（活動の成果報告等）

（1）白石工業高校 （2）角田高校 （3）工業高校 （4）古川高校

（5）岩出山高校 （6）小牛田農林高校 （7）石巻工業高校

4 入学を目指す皆さんへ（お知らせ・メッセージ）

（1）柴田高校 （2）仙台第三高校 （3）古川黎明高校 （4）宮城野高校

（5）水産高校 （6）第二工業高校 （7）美田園高校

1 マナーアップの取組紹介

(1) 富谷高校

〈本校のマナーアップ活動紹介〉

本校では、生徒会を中心にさまざまなマナーアップ活動に取り組んでいます。本校前の道路は自動車の往来が多く、また、生徒の約8割が自転車通学をしていることから、特に交通安全運動に重点を置いて活動を行っています。

以下に主な取組を紹介します。

～主な活動内容～

① 自転車通行時・注意箇所のパネル掲示【写真1】

生徒会執行部が中心となり、昇降口や廊下に自転車事故が起きやすい危険箇所を示したパネルを掲示し、生徒に注意を促しています。

② 「自転車事故ゼロ」掲示板の設置【写真2】

自転車事故ゼロの連続日数を表示する掲示板を昇降口に設置し、現状を全校生徒に知らせることで、自転車事故防止に関する意識を高めています。

③ 交通安全呼び掛け活動【写真3】

生活委員の生徒と教員が協力し、3カ所ある校門付近で月に一度、登校中の生徒に対して自転車運転のマナーを中心とした交通安全の重要性を呼び掛けています。

④ アルカス活動【写真4・5】

大和警察署と「TMYアルカス」生徒会執行部が合同で、自転車盗難や自転車損壊行為等の被害を防止することを目的とした自転車駐輪場での点検を実施しています。

⑤ ヘルメット着用率アップに向けて

今年度から、自転車通学許可要件の一つとしてヘルメット着用を加えました。登下校時のヘルメット着用率アップに向けて、交通系の生徒と教員が協力し、声掛けやポスター制作を行っています。

これらの一連の取組によって、交通事故防止に貢献していると思われます。今後は、「自身の命を守るためにヘルメットを着用する」意識を高めるための呼び掛けを強化し、生徒一人ひとりの一層の安全意識向上に向けて、働き掛けていきます。



【写真1】自転車通行時・注意箇所パネル（左）



【写真2】自転車事故ゼロ連続日数掲示板（右）



【写真3】校門付近での交通安全呼び掛け活動



【写真4・5】本校生徒会によるアルカス活動
(ツーロック推奨キャンペーン)



〈学校のホームページはこちらです〉

<https://tomiya-h.myswan.ed.jp/>

（２）築館高校

〈自転車マナーアップ運動＆朝の一声運動〉

築館高校では自転車マナーアップに力を入れています。定期的に交通安全委員が登校時に校門付近で自転車の安全運転を呼び掛ける活動を続けており、栗原警察署の方々にも参加いただいて、自転車通学者に対するマナーアップの声掛けに御協力いただいております。

また、９月３０日（火）には自転車交通安全教室を開催し、栗原警察署交通課による交通安全講話とともに、事故再現スタントの見学を行いました。自転車交通ルールを守ることによって、加害者にも、被害者にもならずに安全に生活できることを改めて学ぶことができた時間でした。

また、５月と１０月には朝の一声運動として、PTA・生徒会執行部を中心に、爽やかなあいさつを呼び掛ける活動を行っています。築館高校では、地域に元気を届けるため、「明るいあいさつが響く学校」を目指し、全校生徒一丸となって明るく元気なあいさつを心掛け、実践しています。

さまざまな面でマナーアップを心掛け、地域の皆さんとともに安全・安心な地域作りにこれからも取り組んでいきます。



朝の挨拶運動（PTA 役員の皆様が参加）



交通安全運動・自転車交通安全教室の様子

〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://tukiko.myswan.ed.jp>

2 特色ある学校行事等の紹介

(1) 伊具高校

〈特色ある学校行事〉

【体育祭】

6月26日(木)、6月27日(金)で体育祭を実施しました。今年度も熱中症対策の一環として、昨年度同様に2日間から1日半に縮小した形で実施しました。各種目において熱戦が繰り広げられ、優勝したクラスと教員チームがエキシビジョンマッチを行うなど、大変な盛り上がりを見せました。天候が不安定で実施できなかった種目もありましたが、変更した種目の障害物競走も盛り上がりを見せました。大きな怪我や体調不良者もなく、無事に2日間の日程を終えることができました。



【一日体験入学】

7月25日(金)に一日体験入学を実施しました。本校の総合学科という強みを活かし、機械、情報、福祉、農学の4つの系列を体験できる内容で、参加した中学生からも好評の声をいただきました。体験入学の最後には部活動説明会を実施しました。昨年度までは見学を実施していましたが、今年度は酷暑のため、見学は中止となりました。中学生は熱心に質問をするなど、本校の部活動に触れることができました。



【ハレの場マルシェ】

本校の4系列(機械、情報、福祉、農学)が協力し、「人間性豊かな職業人の育成」という観点から、キャリア教育の一環として今年度から地域連携事業『ハレの場マルシェ』がスタートしました。地元企業にも協力していただき、6月1日(日)に第1回のイベントが不動尊公園キャンプ場で開催され、本校も3年次生徒を中心に参加し、「生命・自然・もの」とのふれあいを体験しました。第2回のイベントは11月24日(月)に同じく不動尊公園キャンプ場で実施予定です。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://igu.myswan.ed.jp/>

（２）白石高校七ヶ宿校

〈特色ある行事がたくさんあります！〉

七ヶ宿校には「七ヶ宿町歴史探訪ツアー」や「スキー教室」などの学校主催の行事だけではなく、「わらじで歩こう七ヶ宿」や「町民音楽祭」などの七ヶ宿町主催の多くの行事もあります。

【歴史探訪ツアー・わらじで歩こう七ヶ宿】

「歴史探訪ツアー」は5月に行われる行事で、事前に地域の講師の方をお招きし、七ヶ宿町の歴史・文化等を学び、実際に名所や旧跡を探訪することで、七ヶ宿町の魅力を知り、総合的な探究の時間に生かすことを目的としています。昨年度は「水」をテーマに白石川源流の鏡清水から滑津大滝、七ヶ宿ダムの治水・利水を学びました。今年度は「産業の歴史」をテーマに宿場町の歴史や林業・農業、町の新しい歴史を担う企業・施設を訪問しました。

「わらじで歩こう七ヶ宿」は、毎年8月に開催されるウォーキングイベントで、約12kmを歩きます。昔、参勤交代や旅人、商人が通った「山中七ヶ宿街道」を舞台に、町の自然や歴史・風景を感じながら歩きます。コース途中には茶店や休憩所が設けられ、地元産品（漬物、イワナの塩焼き、果物等）のおもてなしもあり、地域の方々と交流することができます。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://sitika.myswan.ed.jp/>

（３）名取北高校

〈地域に愛され 地域に育てられる名取北高校〉

令和6年度から名取市内で活動する大学や小中学校、社会教育施設、社会福祉法人、公益財団法人などの協力を得て「名北アカデミーサポート委員会」を立ち上げ、地域と連携した総合的な探究の時間を展開しています。

1学年では名北アカデミーサポート委員会による「地域探究講座」で興味の幅を広げ、探究のタネを集めます。1学年の後半に探究テーマを設定して、2学年では校内外の発表や、フィールドワークを重ね探究サイクルを何度も繰り返し、3学年で成果発表を行います。

地域の方との繋がりが、自ら設定した探究テーマを深掘りしていくことや、高校卒業後の人生の一助になると考えています。



【地域探究講座】

〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://natorikita.myswan.ed.jp/>

(4) 名取高校

〈西洋料理講習会〉

6月11日(水)に家政科3年生17名を対象として、スペシャリストに学ぶと称し、「西洋料理講習会」が行われました。岩沼市に店舗を構える、Restaurant Cache-Cacheのシェフ、猪岡暖子先生をお招きし、「鱈のポワレ マリニエール風」「ホタテのミキュイ」「新玉ねぎのブランマンジェ」の3品を生徒に教えていただきました。料理の名称の由来や、調理のコツ、美しい盛り付けの仕方など、興味深い内容で、参加した生徒達も熱心に技術の習得に励みました。

試食の際は、手に入りやすい食材でも、ここまで味に深みが出て、おいしいと感じられることに感動し、今後の家庭科技術検定1級のコース料理作成の参考となったようです。プロの調理の際の手さばきや、準備や調理の仕方などを目の当たりにし、調理の奥深さを再確認する時間となりました。



〈白身魚のポワレ〉 〈ホタテのミキュイ〉 〈新玉ねぎのブランマンジェ〉



〈学校のホームページはこちらです〉

<https://natori-h.myswan.ed.jp/>

(5) 仙台東高校

〈東高グローバルウィーク!!〉

11月の月上旬に、全校をあげて国際理解に関する意識を高めるための1週間を設定しています。

目玉となる国際講演会に加え、イスラム食ハラルカレーを格安で出張販売します。JICA 東北からのパネルも数多くコモンホールに展示され、宮城県国際化協会・仙台観光国際協会から派遣された在仙の外国人を複数お招きし、異文化理解の機会を設定するなど、放課後毎日イベントが開催され、国際理解に関する意識を高める絶好の機会となっています。この行事をきっかけに「国際分野」の進路を考える生徒も多くいます。

また、この週間を利用して募金活動を行っており、*UNHCR 募金・*KNK 募金を隔年で行い、毎年感謝状を頂いています。



今年は東日本大震災発生から14年が経過し、来年には15年を迎えるにあたり、震災時から仙台市内に居住する外国人の方をお招きして、「外国人との共生」や防災について考えたり、講演会では、心のケアなどについてお話ししていただいたりする予定となっています。

*UNHCR・・・国連難民高等弁務官事務所

*KNK・・・国境なき子どもたち

〈学校のホームページはこちらです〉

<https://higasi-h.myswan.ed.jp/>

（６）仙台二華高校

〈『“世界の水問題の解決”に挑む』〉

仙台二華高校には特色ある取組がたくさんありますが、その取組の１つが「グローバルスタディ 課題研究」（学校設定教科）です。『世界の水問題の解決』をテーマに生徒が自ら課題を見つけ、２年間（科目の選択によっては３年間）にわたり探究活動を行います。この活動の一環として高校１年次生対象の北上川フィールドワークを９月２５日



（木）、２６日（金）の２日間で実施しました。岩手県と宮城県にまたがる北上川に関して、その歴史や周辺の地形、自然環境、近隣の自治体が抱える様々な課題などについて、実際に現地に赴いて学びます。１日目は、７つのHR（ホームルーム）が３つに分かれ（１）東松島市の野蒜海岸、洲崎湿地（２）伊豆沼サンクチュアリセンター（３）北上川ダム統合管理事務所（四十四田ダム）、旧松尾鉱山新中和処理施設をそれぞれ訪れ、研修を行いました。２日目は八幡平中腹にある旧松尾鉱山跡地で育樹活動（補植・追肥）を行いました。この鉱山はかつて

東洋一の硫黄産出量を誇った鉱山でしたが、硫化鉄鉱と水（雨水や地下水）、酸素が反応して発生する強酸性水が、閉山となった今でも流出していて大きな問題となっています。そのため、現在大規模な中和施設が設置されていますが、その維持費は年間５億円にも及んでいます。鉱山にはまだまだ大量の硫化鉄鉱が眠っていますが、それと反応する水が地下に流れ込まないように山の保水力を高めるための緑化活動がこの育樹です。１０年以上継続しているため、かつての生徒たちが植えた樹木も大きく育っています。当日は天候に恵まれ、近くに岩手山を望みながら、生徒は黙々と作業を行っていました。慣れない作業ではありましたが、全員が充実した達成感あふれる表情で終えることができました。環境保全の規模としては小さいかもしれませんが、継続していくことでいつか環境が蘇ることを期待し、これからもこの活動を続けていきたいと思っています。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://nika.myswan.ed.jp/>

(7) 泉高校

〈体育祭〉

9月25日(木)、26日(金)の2日間にわたり、本校の3大行事のうちの今年度最後の行事である体育祭が開催されました。生徒たちは2日間にわたり、クラス対抗で、サッカー、バレーボール、ドッチボールの球技種目、縦割り対抗「綱引き」と「リレー」競技に分かれて、屋内外で熱戦が繰り広げられました。また、エキシビションとして、教員と生徒代表の綱引きを行うなど学校全体が盛り上がりました。

クラスごとに作成したカラフルで様々なデザインのユニフォームを着て、クラスが一丸団結して試合に臨むことができました。また、自分たちの試合のない時には、クラスメートを一生懸命に応援するなど、クラスの絆がさらに深まったように感じます。勝ち負けにかかわらず、試合後のすべて出し切った清々しさがとても印象的でした。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://izumihigh.myswan.ed.jp/>

(8) 中新田高校

〈「ドローン・ラボ」始動！ 高校生によるインドアドローンショー〉

本校の学校設教科「地域創造学」では、加美町全体を学びのフィールドとした探究活動を通して地域社会に貢献する人材を育成することを目指しています。その中の科目の一つ「地域産業Ⅰ」の授業では、ドローン制御のプログラミングを専門の業者に指導いただいたことに始まり、昨年12月には、ついに有志生徒による放課後活動「ドローン・ラボ」が始動しました。



今年度は、地域の小中学校や児童館、公民館などからの依頼を受け、自分たちがプログラムしたドローンショーを披露し、好評を得ることができました。

なお、専用の機体を用いて高校生がドローンショーを制作・公演するのは本校の取組が「国内初」です。今後も活動の場を広げ、地域の賑わい創出に一役買えるようになりたいと思います。御期待ください！



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://nakani-h.myswan.ed.jp/>

(9) 松島高校

〈ホテル実習(観光科2年生)を実施しました〉

7月26日(土)から8月7日(木)まで、観光科2年生がホテル実習を行いました。本実習では、松島町内の旅館・ホテルを中心に御協力をいただき、宿泊産業での業務内容や産業自体の魅力などを学びました。

参加した生徒からは、以下のような感想がありました。

「人のために働くことが、こんなにも良いことで、喜びを感じられることを学びました。」

「お客様が笑顔でいられるように、従業員の方々は最高のおもてなしをしていました。」

「ホテルの顔として責任を持って仕事をすることを学びました。」

「常にお客様のことを考え、松島に少しでも貢献しようと日々切磋琢磨している従業員の皆様の姿を見ることができたので、これまでよりも松島のことが好きになりました。」

今回の実習では、生徒が宿泊業の業務を体験するだけでなく、各企業様から「おもてなしの心」や「各施設の魅力」に関する講話などもしていただき、生徒たちにとって多くの気づきや学びがありました。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://matsushima-h.myswan.ed.jp/>

(10) 涌谷高校

〈芸術鑑賞会〉

10月15日(水)に芸術鑑賞会を行いました。今年は古典芸能ということで落語を鑑賞しました。次に生徒の感想を紹介します。

- ・初めて落語を生で鑑賞し、想像以上に楽しく、貴重な体験となりました。
- ・鑑賞前は「古くて堅苦しい」「難しそう」といったイメージがありましたが、実際にしてみると全く違い、心から笑うことができました。
- ・たった一人で何人もの登場人物を表現することに驚きました。特に、声や話し方を変えて演じ分ける技術の高さに圧倒されました。
- ・古典落語は昔の話なのに、登場人物のおもしろさややり取りは、現代の私たちにも十分面白かったです。

以上、生徒の感想から、今回の鑑賞会を通して、落語や日本の「話芸」に対する興味・関心が広がり、生徒にとって良い経験になったようです。



〈学校のホームページはこちらです〉

<https://www.wakuya-h.myswan.ed.jp>

(11) 登米高校

〈登米小学校での読み聞かせ活動〉

登米高校では、隣接する登米市立登米小学校の「朝の読書タイム」に訪問して、絵本や紙芝居の読み聞かせ活動を続けています。

小学生との交流が楽しくて、毎年2回3回と回を重ねる生徒が沢山います。参加は主に家庭科「保育基礎」受講者などの進路を意識する生徒と図書委員です。今年は1、2年生の教室に計7回伺う予定になっています。

参加生徒は、児童に合わせた本を選び、話し方などを工夫して当日を迎えます。以下は、参加生徒の感想です。



(参加生徒①)「2回目の読み聞かせで、去年より緊張しませんでした。大きな声で話すことは意識してできましたが、ゆっくり話すことができていたか自信がありません。次はスピードを意識して読み聞かせをしたいです。」

(参加生徒②)「大きい本じゃないと、後ろまで見えないと分かったので、作成中の絵本の絵はなるべく大きくしたいです。」

生徒各々が、この活動を通して、発見や気づきを得られているようです。



〈学校のホームページはこちらです〉

<https://tome-h.myswan.ed.jp>



(12) 登米総合産業高校

〈地域の子どもたちとのふれあいをとおして、郷土愛を育む。【地域連携の取組】〉

○学ぶ楽しさを小学生に伝える【情報技術科】

9月に登米市立上沼小学校の特別支援学級の児童たちに、情報技術科の3年生が出前授業を行いました。当日は、本校生徒が小学生の特性に合わせて制作した学習支援ゲーム（簡単な計算、生活マナークイズなど）を使用しました。生徒は丁寧な言葉遣いで伝え、一緒に学習を進めていました。緊張していた生徒たちも、目を輝かせながら学ぶ児童の姿を見ながら、熱心に指導していました。この活動は、11月に2回目を実施する予定です。



○親子でつくる、夏の思い出【機械科】

登米市中田地区の小学生とその御家族を対象に、「なかだ夏やすみ工作体験」を実施しました。機械科の生徒たちが講師となり、親子でオリジナルポスト表れづくりに挑戦。

普段触れる機会のない工具を使い、ものづくりの面白さを体験してもらいました。

参加された親子からは「丁寧な説明で分かりやすかった」「よい夏の思い出になった」との声が寄せられました。



〈学校のホームページはこちらです〉

<https://tomesou.myswan.ed.jp/>

(13) 迫桜高校

〈エンジニアリング系列土木 現場体験実習〉

毎年10月ごろ、1・2年次エンジニアリング系列土木選択者を対象に宮城県建設業協会栗原支部の皆さんの御協力のもと、土木現場体験実習を実施しています。

土木工事について、普段の授業では教科書や映像で学んでいます。体験実習は、実際に稼働している工事現場の生の空気感や迫力のある規模の大きさを肌で感じられる貴重な機会となっています。

また、日々新しい技術が開発されている建設業界ですが、学校教育の場に最新の機器を導入することはとても難しいため、この体験実習の場でドローンやICT制御の重機を実際に操作・搭乗させていただけることは生徒にとっても大きな刺激となっています。

進路選択の面においても非常に有益で、現場体験実習を機に御協力いただいている企業への就職を希望し、採用していただいた卒業生も多くいます。



〈学校のホームページはこちらです〉

<https://hakuou.myswan.ed.jp/>

(14) 石巻西高校

〈主体的に学び、自らの考えを表現するために〉

本校は、令和元年度～令和3年度に文部科学省「地域との協働による教育改革推進事業」、令和4年度～令和6年度 三菱みらい育成財団「心のエンジンを駆動させるプログラム」採択校として、総合的な探究の時間を柱に地域資源や地域人材を積極的に活用した探究的な学びを推進し、採択終了後も引き続き取組を継続しています。

具体的には探究学習を進める準備として行う外部講師による「コミュニケーショントレーニング」「自己理解講座」、若手社会人に生徒たちがインタビューを行う「街ライブラリー」、地域事業所から提示された課題の解決を探究するインターンシップ「街ミッション」、課題探究フィールドワーク「街クエスト」、地域の大人や教職員と自らの探究活動について対話を重ねる「作戦会議」、生徒個々人の興味関心や課題意識に沿って探究を進める「地域課題研究」等を行い、生徒のコミュニケーション力や自己肯定感を高め、地域・社会貢献意欲等の向上を図り、将来的には石巻地域に貢献できる人材や持続可能な未来社会を創造する人材の育成を目指しています。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://inisi.myswan.ed.jp/>

(15) 石巻北高校

〈交流ひろば販売所 “と・ら・ま・い”〉

今回は本校ならではのイベント「とらまい」を紹介いたします。

「とらまい」は本校で定期的に行われている地域の方々向けの販売イベントです。ジャガイモ、トマト、米粉のクリームパンやバターロール、みそ、塩麴等さまざまな商品があります。また、今年は百周年記念のパン「ブンブンハニー」を発売しました。店舗は校門を入るとすぐの所であり、開店時はいつも行列ができます。店を切り盛りするのは、もちろん北



高生です。食農系列が実習で商品をつくり、家庭系列がそれを使ったレシピをリーフレットにして提供します。進学系列が広報誌「とらまい通信」を提供し、教養系列が接客を行います。レジは会計のエキスパート経情系列が担います。他にも生徒会が動画で学校を紹介したり、1年次生が交通整理を行ったりしています。それぞれが学びを生かし、全体でも力を合わせて営業しているこの「とらまい」は総合学科ならではの合わせ技と言えるでしょう。今年度で創

業14年目を向かえ、今やこの地域に根付いたイベントとなっています。

※「とらまい」はこうして名付けられました！

本校の地元、鹿又地区には地元で古くから親しまれてきた郷土芸能「虎舞」があります。これにあやかって本校のイベントもそう名付けられました。

今年度、今後の「とらまいの開店日」は下記の予定となっています。ぜひお越しください！



令和7年度 交流ひろば販売所 “と・ら・ま・い”

・11月5日 ・11月19日 ・12月3日

いずれも水曜日！

営業時間 16時00分 ～ 16時30分

〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://ishikita.myswan.ed.jp/>

(16) 気仙沼高校

〈タンキュウ×デ×セイチョウ〉

中学生のみなさん、こんにちは！高校では、各教科の内容だけを学習していると想像している人が多いかもしれません。しかし！気仙沼高校では、単に教科の学習を進めるだけではなく、3年間を通して手厚いサポートを受けながら探究活動に取り組むことができます。探究したいテーマも自分の興味関心をもとに考えることができ、多岐に渡ります。今年度の例を挙げると、「震災の記憶を表現で伝えることは風化を防ぐことに有効か」「異文化間コミュニケーションにおける誤解緩和の実践的検証」「Creation of a New Fishing Industry Model in Kesennuma」など、地域のことから世界のことでまで多くのテーマが見受けられました。単に学校内で探究を進めるだけではなく、地域企業や大学、台湾などへのフィールドワークに出向き、人とのコミュニケーションの中で多角的な視点を得る機会も充実しています。気仙沼高校と一緒に「答えのない」課題について熟考し、自分なりの解を創造してみませんか？



↑ 総探最終発表会



↑ 台湾研修

〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://kesennuma-h.myswan.ed.jp/>

(17) 本吉響高校

〈充実感いっぱいの「デイサービス実習」〉

例年、2年次の10月に「デイサービス実習」が予定されていますが、今年度も10月1日（水）から3日間の日程で行いました。生徒は自宅から直行直帰の形をとり、校内で学んだことを中心に経験を積ませていただきました。

初日は「秋まつり」のイベントに参加させていただき、利用者の方々の前で職員の方々と一緒に地元の踊りを中心に披露させていただきました。お祭りには縁日がつきものですが、利用者の方に喜んでいただこうと、豚汁や鯛焼き、綿あめ等、沢山の食べ物も並び、笑顔溢れる素敵なお祭りとなりました。また、実習中は、利用者の方々との対話やレクリエーションへの参加、食事やおやつの配膳、整容、歩行介助、車いす操作等も体験させていただき、学校では経験することのできないとても貴重で学びの多い充実した3日間となりました。さらに、最新の設備や機能、導入後の業務の変化等も教えていただき、より良い介護サービスを展開しながらも、「ICT」の導入により、人材不足を補うような努力も必要になってくることを学びました。今後も地域で貢献できるような介護人材を輩出できるよう指導に力を入れていきたいと思っています。

○「福祉」の特色ある取組

- ・「校外実習」（デイサービスセンター）
- ・介護ロボット・認知症VR体験
- ・障がい者福祉施設職員による「介護ガイダンス」
- ・「介護フェスティバル」
- ・市内福祉・医療職による「介護ミーティング」
- ・「気仙沼すごろく」の開発



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://hibiki-h.myswan.ed.jp/>

(18) 田尻さくら高校

〈さくら高生の世代間交流〉

①「さくらチャレンジ講座 2025」

開校以来続く「さくらチャレンジ講座（科目履修生）」は、今年度、30講座に70名の方が参加し、本校生徒と一緒に授業を受けています。本校生にとっては平均年齢68、8歳という科目履修生の方々と、授業を通して自然と交流が生まれることで、他ではなかなか得られない緊張感や安心感を、日常の中で感じることができる貴重な機会となっています。

来年度の募集は、令和8年2月上旬頃、本校HPや大崎市の広報、田尻支所だより等でお知らせする予定です。

②「絵本の読み聞かせ会」

夏季休業中に本校ボランティア生徒が、近隣の認定保育園すまいる園へ行き、4歳児と5歳児クラスの園児を対象に『絵本の読み聞かせ会』を行いました。生徒6人が園児たちに、絵本を読み聞かせたり、ボーリング大会を行ったりしました。園児たちはとても喜んでくれました。この日に向けて読み聞かせの練習を重ねてきた生徒は、「園児のみんなが可愛くて、とても楽しかった」と充実した様子でした。

本校は近隣に小・中学校や認定保育園があることから、連携した取組がしやすい環境にあります。ボランティア活動の他にも、外部講師を招き小学生と一緒に「するめ天旗づくり」、小・中学生も作品を応募できる「書道展」（本校ギャラリーに展示）など、様々な取組を行っております。行事の様子は本校HPに掲載しておりますので是非御覧ください。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://tajiri-hs.myswan.ed.jp/>

3 生徒の活躍（活動の成果報告等）

（１）白石工業高校

〈『写真甲子園全国 3 位』〉

私たちは 7 月 29 日（火）から 8 月 1 日（金）にかけて北海道で行われた写真甲子園 2025 に東北代表として出場しました。

本校は昨年宮城県勢初優勝を飾りましたが、今年は連覇のかかる大会で責任重大でした。今回は人の見落としている汚れやさびに注目した作品、地元の方々に声を掛け、また北海道に行きたいという思いを込めた 2 作品を作りました。結果は全国 3 位となる優秀賞でした。

優勝することが叶わず、もちろん悔しい思いもありましたが、それよりも大会を通して北海道で出会った方々との思い出や写真を通して得たつながりや、様々な経験をさせてもらったことに感謝しています。

私たちの部では写真の技術だけでなく、人間としても成長することができます。高校生になったら新しいことにチャレンジしてみたい！ぜひ白石工業高校写真部を覗いて見てください。来年は 2 年生たちが優勝してくれることを信じてこれからも部員全員で目標に向かって努力し続けようと思います。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://shiroishi-kougyou.myswan.ed.jp/>

（２）角田高校

〈祝！インターハイ・東北大会出場！〉

今年度は陸上競技部がインターハイ出場、剣道部、空手道部が東北大会出場を果たしました。過去には空手道部、バドミントン部、弓道部、美術部等が全国大会出場を経験しています。運動部、文化部ともに活動が盛んな学校です。

○陸上競技部

全国高等学校総合体育大会陸上競技大会（広島県）女子円盤投 出場

東北高等学校新人陸上競技選手権大会（宮城県）女子円盤投 出場

○剣道部

東北高等学校剣道選手権大会（福島県）男子団体 出場

○空手道部

東北高等学校空手道選手権大会（山形県）女子個人形 第 5 位

東北総合スポーツ大会（宮城県）女子個人形 第 5 位



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://kakuko.myswan.ed.jp>

（３）工業高校

〈技術と友情をつなぐ～台湾・南港高工との姉妹校締結～〉

令和 7 年 5 月 24 日（土）、台北市立南港高級工業職業学校と本校の姉妹校締結式が行われました。本校からは 3 名の生徒が代表として台湾に赴き、植樹や茶話会で交流を深めました。



南港高級工業職業学校は生徒約 2,000 人の大規模校で、車や重機の改造を専門とする学科など高度な技術を学ぶことのできる学校です。締結式では両校の校長先生が協定書に署名し、県工からはダルマや日本のお菓子、クラフトデザイン部の手作り巾着袋を贈り、南港高級工業職業学校からは精巧なガラス工芸の置物やレーザー加工の箱、学校マスコットのぬいぐるみやＴシャツなどの返礼品をいただきました。



締結式に参加した生徒は「南港高級工業職業学校は大きな高校で、車の整備や重機の扱い方を学ぶことができ、全国大会で上位入賞する生徒もたくさんいる素晴らしい学校です。そのような高校と姉妹校締結できたことは県工の大きな成長に繋がると思います。来年度以降共同研究を行う可能性もあり、本当に楽しみです」と感想を述べていました。緊張の中でも「県工代表として恥ずかしくない態度で臨めました」と語り、温かく迎えてくれた台湾の生徒たちとの交流を通して、生徒たちは互いの文化や価値観を理解し合い、大きな成長の機会を得ました。



今後はオンラインでの交流を中心にしながら、共同研究も視野に入れ、県工ならではの技術を世界に広めていく予定です。



〈お知らせ〉

11月15日（土）9時から13時まで、宮工祭一般公開を開催します。模擬店、吹奏楽・ダンス発表、各部活動・学科の作品展示やPTAバザーなど多彩な企画が楽しめます。御来場をお待ちしております！

〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://miyagi-th.myswan.ed.jp/>

（４）古川高校

〈芸術鑑賞会 演劇「走れメロス」を鑑賞しました〉

古川高校では毎年１０月に「芸術鑑賞会」を開催しています。今年度は東京演劇アンサンブルによる劇「走れメロス」を鑑賞しました。この題目、中学生の皆さんにとっては教科書で学んだ馴染み深いものではないでしょうか。高校生からも、鑑賞前は「懐かしい」とのつぶやきが聞こえてきました。その一方で、「舞台の上でひたすら走る表現は大変そう」という声も聞かれました。



【図書委員が代表をして感謝の花束をメロスへ】

いよいよ舞台の幕が開くと、始めから驚きが待っていました。メロスはなんと、観客席から登場。セリヌンティウスを城に残し、残虐な王に「必ず戻る」と約束をした後は、舞台上を飛び出し、客席通路と舞台を走り、走り、走り抜ける演出だったので。演劇の持つ可能性の高さを肌で感じる体験となりました。また、メロスが「自分（の肉体）に負けた」と挫折しそうになりながらも走り通した姿は、受験や部活そして勉強に悩みを持ちながらも励んでいる生徒を勇気づけてくれたのではないかと思います。

閉幕後は劇団の方との「座談

会」が開かれ、演劇部や芸術関係への進路を考えている生徒が参加しました。生徒からは、「どのようにして演劇の道に進んだのか」「緊張した時はどうしているのか」「体力づくりはどうしているのか」など次から次へと質問が投げ掛けられていました。その道で活躍している方から直にアドバイスを受けたこの経験は、きっと忘れられないものになったことでしょう。

古川高校では、心に響く「本物」の芸術に触れる体験を生徒たちにしてもらいたいという願いから、毎年このような鑑賞会を企画しています。次年度は古典芸能をテーマに今から準備を進めているところです。中学生の皆さん、来年は皆さんと一緒に鑑賞会を体験できることを楽しみにしています。



【クライマックスシーン。メロスとセリヌンティウスを前にした、王様に変化が…。】



【劇団の方との座談会。質問が飛び交う！】

〈 学校のホームページはこちらです 〉

<http://furuko.myswan.ed.jp>

(5) 岩出山高校

〈第 62 回政宗公まつり〉

9月14日(日) 岩出山地域にて「第 62 回政宗公まつり」が開催されました。本校では、生徒・職員の全員が参加しています。部活動ごとに祭りの担当があり、女子は竹法螺(たけぼら)を吹き、男子は牛鬼(うしおに)を担ぎながら沿道を練り歩きます。

また、弓道部は少年少女剣士隊、一部の生徒は給水係として、多くの場面で、本校生徒の活躍が見られた政宗公まつりでした。

岩出山高校は、今後もこのような地域貢献活動を通じて、本校の魅力を発信していきます。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://iwadeyama-h.myswan.ed.jp>

(6) 小牛田農林高校

〈地域の福祉施設でのふれあいコンサート〉

本校の吹奏楽部が、町内にある福祉施設を対象にした「ふれあいコンサート」を開くようになって、4年目になりました。

「音楽を通して聴いてくださる方を笑顔にしたい」という思いを込めて、熱い演奏を届けることが出来たと思います。参加者は知っている曲の演奏が始まると手拍子をしたり、歓声をあげたりしながら聴いてくれました。



〈緑の羽の募金と岩手大船渡森林火災復旧のための募金〉

町内のスーパーに出掛けて、緑の羽の募金と岩手大船渡森林火災復旧のための募金活動を行いました。

校内では、登校時に生徒昇降口で募金を呼び掛けました。おかげさまで 10 万円を超える寄付ができました。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://kogotanourin.myswan.ed.jp>

(7) 石巻工業高校

〈機械部がロボット競技の全国大会に出場します！！〉

本校機械部が、福島県で開催される全国高等学校ロボット競技大会への出場が決定しました。今回は、本校生徒会長であり、機械部ロボコン班の代表でもある鹿又蓮君（機械科3年）がインタビューに答えてくれました。

●全国大会出場決定おめでとうございます！まずは、機械部がどんな部活なのか教えてください。

鹿又：機械部は、エコラン班、ロボコン班、ものづくり班の3つに分かれており、自分の興味のある分野について探究しています。

●機械部に入ろうと思ったきっかけはなんですか？

鹿又：ロボットを自分で製作してみたいと思ったからです。

●やりがいはあるところですか？

鹿又：ロボットを製作していく過程で様々な課題が発生しますが、仲間と共に試行錯誤しながら考え、解決していくことがやりがいです。

●せっかくなので、機械部のPRをお願いします。

鹿又：様々な機械を学生のうちから使うことで、体感的な理解ができます。また、ものづくりの考え方や計画性、課題解決能力を身に付けることができる、最高の部活です。

●全国大会に向けて意気込みをお願いします。

鹿又：先輩たちが成し遂げられなかった予選突破を目標に、支えてくれた方々の思いを背負って頑張ります。応援よろしくお願いします。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://ishiko.myswan.ed.jp/>

4 入学を目指す皆さんへ（お知らせ・メッセージ）

（１）柴田高校

〈行事の秋 オープンキャンパスの秋〉

9月5日（金）、6日（土）の2日間で、柴田高校の文化祭「柴高祭」を開催しました。今年度は「バッコーン！！俺らの青春血圧爆上げ！一時のハーモニー」をテーマに、各クラス・部活動がさまざまな展示やパフォーマンスを披露し、大いに盛り上がりました。ステージ発表では軽音楽部の演奏やカラオケ大会に加え、今年初開催の筋肉の美しさを競うフィジーク大会も開催されました。2日目には毎年恒例の体育科実技発表があり、劇も交えるなど各部工夫を凝らして日頃の練習の成果を披露しました。御来校いただいた皆様、ありがとうございました。

秋と言えば、スポーツの秋です。10月8日（水）、9日（木）に体育大会が2日にわたって行われました。二人三脚リレーや騎馬戦などの運動会種目と球技種目を実施し、各クラス思う存分スポーツを楽しむことができました。

10月5日（日）には今年度2回目のオープンキャンパスを実施し、45名の中学生の皆さんに御参加いただきました。体育科を希望する方に、本校の専攻実技種目である6つの部活動を体験いただきました。御参加いただいた皆様、ありがとうございました。

今回、「柴田高校について知りたかったけれど、オープンキャンパスに参加できなかった」という方にお知らせです。11月1日（土）に今年度最後のオープンキャンパスを実施します。普通科・体育科の両科を対象としており、個別相談会も実施します。入試等に関する疑問点や不安などがありましたら遠慮なく御相談ください。中学生の皆さんの御来校をお待ちしております。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://sibata.myswan.ed.jp>

(2) 仙台第三高校

〈仙台三高の紹介と活躍〉

◎仙台三高の紹介

本校は、理数科（2 クラス）と普通科（6 クラス）があり、スーパーサイエンスハイスクール（R4～R8）に指定されています。教科横断型の課題解決型学習（PBL）を通じて、主体的に社会課題を発見し、その解決を目指そうとする探究活動を充実させています。授業ではグループディスカッション、プレゼンテーション、外部発表、論文作成などを実践し、個々の力を伸ばしていきます。また一人一台のPC 端末を活用し、データ分析やプログラミングなどの情報活用能力を育成しています。この他、各地域で行うフィールドワークでは、最先端の科学技術や自然に触れることで、科学的な好奇心をさらに高められます。このように、さまざまな活動を通じて、変化の激しいこれからの社会の中で、自らが率先して行動し、活躍できる資質・能力を身に付けていきます。



東北大学留学生への英語によるプレゼンテーション



南三陸フィールドワーク（7月）



つくば研修（8月 JAXA）



白神フィールドワーク（8月）

◎仙台三高の活躍

〇かがわ総文 2025

自然科学部門研究発表 地学分野

最優秀賞・文部科学大臣賞（全国 1 位）自然科学部地学班

ビデオメッセージ部門 特別賞 放送部

〇インターハイ フェンシング、テニス、ソフトテニスで出場



かがわ総文 2025 文部科学大臣賞

◎お知らせ

次の探究活動発表イベントは 11 月 6 日（木）のイノベーションフェスタです。

〈学校のホームページはこちらです〉

<https://sensan.myswan.ed.jp/>

(3) 古川黎明高校

〈学校紹介〉

本校は、大正 9（1920）年に設立された宮城県古川女子高等学校を前身とし、平成 17（2005）年に県内初の併設型中高一貫教育校としての男女共学化に伴い、宮城県古川黎明中学校・高等学校と改称しました。校名の黎明「れいめい」は、「夜明け、または、新しい時代の始まり」を意味しています。



黎明中学校から進学する生徒も、新たに黎明高校から入学する生徒も、学力向上を目指した学習活動に取り組みながら、校訓である「尚志・至誠・精励」（志を高く持ち、目標を掲げよ・誰に対しても何に対しても、常に誠実であれ・学業を始め、何事に対してもひたむきに努力せよ）を実践しています。

授業は 45 分 7 時間で、「気づき・問い・確かめ」のサイクルを大事にしています。国語・数学・英語では習熟度別の科目を導入しており、理解度に応じた幅広い学習を展開しています。進路

実現に向けて、二年次からクラスが文系と理系に分かれます。

総合の時間を SSH 探究と変えて、一年次には世界農業遺産である大崎耕土をテーマに、講演会、フィールドワーク、課題研究に取り組んでいます。二年次・三年次では、班に分かれて興味のあるテーマを探究し、最終的には個人論文を作成します。

部活動等においても、以下の成果をあげています。

○今年度の全国大会出場

なぎなた部（女子演技）、陸上部（女子 5000mW、女子走り幅跳び）、文芸部（短歌甲子園 団体 3 位）
政策甲子園自由設定部門（日本青年会議所会頭賞→決勝大会 1 位に当たる賞）、自然科学部 かがわ総文祭

○今年度の東北大会出場

なぎなた部（女子団体、女子個人）、陸上部（女子砲丸投げ、男子 300m）、卓球（女子シングルス）
吟詠剣詩舞愛好会（少年の部、詩舞の部、剣舞の部）、コーラス部

〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://freimei-h.myswan.ed.jp>

（４）宮城野高校

〈第 29 回宮城野高等学校美術科卒業制作展〉

美術科に所属する生徒は「美術」という分野の学びに特化し、３年間という短い期間で感性を磨き、知識や技術の向上に取り組んでいます。この卒業制作展はその学びの集大成として毎年 11 月に開催しています。

今年のテーマは「361°」です。1 度と 361 度は円で見れば同じ位置かもしれませんが、一周回ったという歩みの中にはたくさんのものを見渡してきた経験の差があります。会場には生徒たちの 3 年間の学習活動で積み重ねてきた発想、想いを込めた作品を展示します。お世話になった皆さんへの感謝も込めて準備を進めてきましたので、ぜひ会場で生徒たちの作品を御高覧いただければ幸いです。

内容は洋画・日本画・彫刻・クラフトデザイン・ビジュアルデザインの 5 つの専攻から 38 名の個性あふれる作品展示を行います。併せて美術科 1・2 年次の授業作品も展示します。

この卒業制作展は 11 月 11 日（火）～16 日（日）の間 10:00～18:00（最終日 17:00）まで仙台市宮城野区文化センターで開催します。入場無料です。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://miyagino.myswan.ed.jp/>



（５）水産高校

〈12 月 20 日（土）水産高校学校説明会開催〉

水産高校では、令和 7 年度から 3 学科での募集を開始しております。

船について専門的に学習をする船舶運航科、海について多面的に学習をする生物環境科、魚や食について専門的な学習をする食品科の 3 学科となります。宮城県、石巻周辺の海や船、魚介類を題材にした楽しく、実学重視の学びを展開しています。

今回は、それぞれの学科でどのような学びを展開しているか、具体的に知ることができる体験授業を準備しました。それぞれの学科で特徴的な実習を体験しながら、水産高校での生活やその先にある未来を考えることができます。また、学科で悩んでいる皆さんのために、2 学科の講座を受けることができます。夏のオープンキャンパスに参加した皆さんもぜひ参加してみてください。

申込受付は、11 月 17 日（月）から 12 月 16 日（火）までとなります。随時情報を提供していきますので、学校ホームページを御確認ください。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://miyagisuisan.myswan.ed.jp/>

（６）第二工業高校

〈電気科「特別編入制度」について〉

本校の特色のひとつとして「電気科特別編入制度」があります。

「電気科特別編入制度」とは、第二種・第一種電気工事士または第三種電気主任技術者資格取得を目指す高等学校卒業もしくは卒業見込みの方を対象とした編入学制度です。

編入学の理由としては、「勤務している会社の業務で資格が必要」、「知識や技能を改めて身に付けたい」など様々ですが、編入生はそれぞれの目標に向かって日常の勤務と並行しながら日々しっかりと学業に取り組んでいます。一般入学の生徒と一緒に授業や実習に取り組み、学校行事や特別活動にも積極的に参加しています。目標に向かって勉学に励む編入生の姿は、ともに学ぶ一般入学の生徒の良きお手本になっています。

令和８年度の特別編入試験は、令和８年２月２５日（水）に実施しますが、出願資格の事前審査が必要となりますので、令和８年１月１６日（金）までに必ず本校教務部に問い合わせ願います。

なお、このことに関する詳細は、本校ホームページまたは「みやぎ県政だより」１１・１２月号を御覧ください。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://m2k.myswan.ed.jp>

（７）美田園高校

〈学校説明会（令和８年１月１７日（土）開催予定）の御案内〉

令和８年度一期入学に向けた学校説明会を下記のとおり実施します。

通信制の学習の進め方は、全日制・定時制とは全く異なります。

進路の選択肢のひとつとして美田園高校を考えていらっしゃる方は、ぜひとも学校説明会に参加していただき、その通信制の学習の進め方等を理解してください。



開催日： 令和８年１月１７日（土）

対 象： 本校への入学を希望している方と保護者の皆様、及び中学校・高校の先生方

会 場： まなウェルみやぎ ３階 大研修室

諸連絡： 事前の申込みが必要です。

詳細は本校ＨＰを御覧ください。掲載は１１月中旬頃を予定しています。

〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://mitazono.myswan.ed.jp/>